

NO 3	分譲マンションにおける「省CO ₂ 化プロトタイプ集合住宅」の提案	三井不動産レジデンシャル株式会社
------	--	------------------

提案概要
 多様な省エネ技術・省エネ設計を標準化するとともに、居住者の省CO₂意識の向上を促すインセンティブなどの取り組みを行うことで、トータルの省CO₂化を図るプロジェクト。このプロジェクトをプロトタイプと位置づけ、物件特性によらない省CO₂化マンションとして、今後の水平展開を目指す。

事業概要	部門	新築	建物種別	住宅
	建物名称	(仮称)世田谷区中町三丁目計画	所在地	東京都世田谷区
	用途	集合住宅	延床面積	3,999 m ² (住宅43戸)
	設計者	株式会社日建ハウジングシステム	施工者	株式会社間組(予定)
	事業期間	平成21年度～平成23年度		

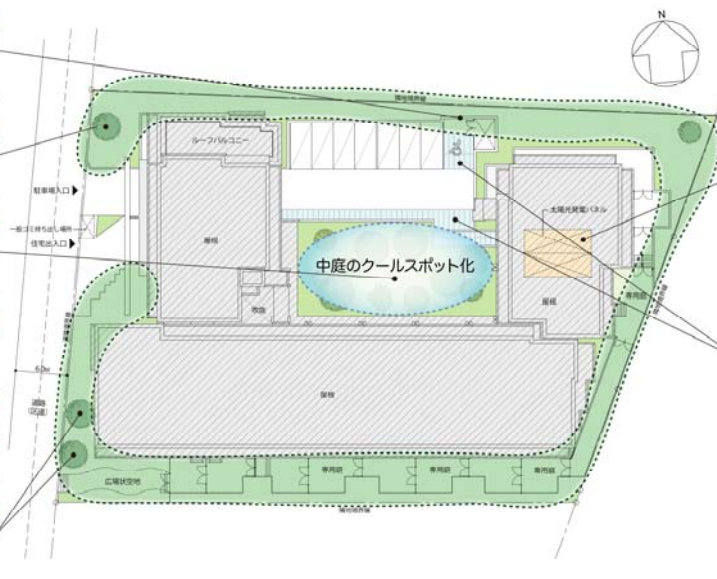
概評
 手堅い省エネ技術を積み重ねているとともに、エネルギー使用状況の見える化を図り、さらにWebの活用等によって居住者の多様な省CO₂活動を誘発させ、このプロジェクトを契機として省CO₂の普及、波及に繋げようとする試みを評価した。今後、さらなる広範な普及がなされることを期待したい。

参考図



	エネルギーデザイン	モビリティデザイン	パッシブデザイン	コミュニティデザイン
ハード (H)	エネルギーの見える化 セーブアースディスプレイ	EV用充電ステーション	打ち水ブロック 次世代省エネ基準の断熱	「コミュニティデザイン ブロック」の配布
	創エネルギー 太陽光発電		エコガラス (Low-Eガラス) クールスポットの創出 パッシブウィンドシステム	
	省エネルギー エコジョーズ		緑のカーテン設置対応 既存樹木の保存	
ソフト (S)	新エネルギーの仕組 MFRグリーンパーククラブ	エコカーシェアリング エコシェアサイクル	グリーンコンテストの開催 打ち水サービス	MFRエコクラブでの エコチャレンジ

- H-4 EV用充電ステーション**
電気自動車対応充電ステーションを平置駐車場へ設置し、将来的なEV普及への対応を図る。
- H-11 既存樹木の保存**
シンボルとなる既存樹木(イチヨウ)を敷地内より移植し、夏は西日対策、冬は住戸内に光を取り込む。
- H-8 クールスポットの創出**
在来種を中心に選定した植栽計画を行う。また、部位ごとの日照通風条件を考慮した樹種配置を行う。
- H-9 パッシブウィンドシステム**
可動ルーバー面格子と開口制限ストッパー付サッシを採用し、防犯を考慮しながら住戸内部に風を取り込む。
- H-10 緑のカーテン設置対応**
専用フックを設置し、居住者の住まい方に応じた利用が可能。
- H-11 既存樹木の保存**
シンボルとなる既存樹木(ヒマラヤシギ2本)により、夏の西日を遮蔽する。



- H-1 エネルギーの見える化**
使用したガスのCO₂排出量や電気使用量が見てわかる。給湯リモコン(セーブアースディスプレイ)を採用し、住民のエコ意識の向上と無駄遣いの削減を促す。
- H-2 創エネルギー**
次世代太陽光発電設備(6KW相当)を導入し、主に共用部分の電力に自然エネルギーを活用。
- H-3 省エネルギー**
各住戸の給湯設備に、エコジョーズ(潜熱回収型給湯器)を採用し、給湯効率のアップCO₂排出量の削減に貢献する。
- H-5 打ち水ブロック**
保水機能と透水機能を併せ持った舗装材。ヒートアイランド現象を防ぐ。
- H-6 次世代省エネ基準の断熱**
各住戸の外壁部分には、次世代省エネ基準の断熱性能を満足する断熱材を施工。
- H-7 エコガラスの採用**
各開口部には、Low-Eガラスを用いたペアガラスを採用し、熱負荷の低減に寄与する。